

平成27年度地域経営推進費 事業評価結果一覧表

事業性質	事業小区分	種別
1 県・委託	1 ものづくり産業	1 ソフト
2 県・補助	2 食産業	2 ハード
3 県・負担金	3 観光産業	
4 県・上記以外	4 地場産業	
5 市町村事業	5 雇用環境の整備	
	6 農林水産業	
	7 地域医療・健康づくり	
	8 子育て・福祉	
	9 防災・危機管理	
	10 環境	
	11 市町村優先の行政システム	
	12 NPO・コミュニティ	
	13 県際・圏域間での連携	
	14 国体・障害者スポーツ大会	
	15 その他圏域の課題解決	

県北広域 振興局

No.	名称		金額		事業コード			評価結果
	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
1	農業担い手育成推進事業	久慈地方農業農村活性化協議会、二戸地方農林水産振興協議会	4,164,292	2,564,292	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	事業を通じて認定農業者、中心経営体、新規就農者、女性農業者の経営向上等に向けた意欲の醸成が図られた。
2	集落営農組織活動支援事業	農政部	1,193,860	1,193,860	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	新たに設立された法人の営農体系の確立と、法人化に向けた取組への支援を行うことができた。
3	畑地かんがいステップアップ事業	農政部	469,546	469,546	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	各種散水資材の導入により、散水作業の労働時間短縮や収量増加などの実証結果が得られた。また、「畑かん実演会」や「畑かんマイスターによる出前講座」を通じて、農家が直接的に畑かん効果を体験できる取組やPRパンフレットにより、畑地かんがいの普及啓発が図られている。 平成28年度は、畑かんの効果実証を継続するとともに、二戸管内のより多くの畑作農家に畑地かんがい効果をPRし、畑作物の安定生産に向けた「畑地かんがい施設の導入」の促進を図っていく。
4	県北地域元気な野菜と花の産地づくり応援事業	農政部	1,120,000	770,000	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	土壌消毒による産地力の回復について、当事業の所期の目標は達成された。一方、機械化一貫体系の確立については、今後、実証農家の経営安定や新たな実証農家の育成に努め、引き続きほうれんそう主業型農家の規模拡大を図ることとする。 本事業のほか、関係機関による「もう1作運動」の展開等により、ほうれんそうの販売額は2年ぶりに増加に転じた。しかし、年度当初の目標には届いていないことから、平成28年度以降も実証圃の設置や新たな生産者リーダーの育成により、産地力の強化に努める。
5	二戸型農作業労力確保チャレンジ事業	新岩手農業協同組合北部営農経済センター	447,241	307,241	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	「長期雇用システム」構築に向けた実証では、労力支援コーディネーターの設置及び調整に時間を要したこと、雇用できなかった農家があったこと等の課題があり、システムとして不十分であったと考える。 平成28年度は、労力支援コーディネーターについては、業務が高度で難しいことから設置せず、農家が被雇用者(アルバイト)への説明を丁寧に行うよう指導していく。 また、「長期雇用システム」を実証することで、今まで十分であった短期雇用が減少するという新たな課題も見つかったことから、長期雇用と短期雇用を両立できるシステム作りの構築を図りたい。

名称		金額		事業コード			評価結果	
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
6	県北地域元気な畜産の産地づくり応援事業	いわてくじ北部和牛改良組合、いわて北部和牛改良組合、新いわて農協、久慈地方農業農村活性化推進協議会、二戸地方農林水産振興協議会	1,581,387	921,387	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	牛温恵を導入し、黒毛和種繁殖雌牛の発情発見の実証を平成28年度まで継続して実施する。牛温恵についての現地研修会を開催したことで、導入希望農家も出てきている。実証結果については、和牛改良組合の研修会等で広く周知し、地域への普及を図る。 乳質改善指導により、搾乳手法が改善され、乳質改善につながった農家がある一方、改善が見られない農家もあったので、乳質改善事例を紹介し、農家の改善意欲向上を図る。また、乳房炎や搾乳衛生管理以外の要因による乳質低下への対策として、飼養管理方法簿改善指導により乳質向上を図っていく。
7	6次産業化トータルサポート推進事業	農政部	1,112,821	912,821	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	6次産業化取組支援については、当初の目標を上回る支援を行うことができ、所期の目標は達成できたと考える。今後もマッチング等の支援を行うが、6次産業化に取り組む生産者の拡大に向けて支援を行ってきたい。 産直施設の売上額についても、所期の目標は達成できた。引き続き、売上拡大に向けた支援を継続していきたい。
8	久慈地域特産物生産販売促進事業	農政部	1,414,040	1,137,246	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	系統別醸造試験の結果については、傾向が把握でき、今後の山ぶどう商品開発に当たっての有効な基礎データとなった。 久慈地域特産物の魅力発信について、生産者が参加することで新たな魅力を伝えることができ、また、シェフの料理や話により農林水産物の生産者自身の新たな気づきや意欲向上につながっている。 山ぶどう商品の販促活動については、ある一定の成果が得られたが、今後も継続して、認知度向上につなげる必要がある。
9	地域ブランド商品創出事業	農政部	662,091	662,091	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	平成27年度に引き続き、食品企業、生産者、学生、関係機関が連携して新品種を活用した商品づくりを進めることができた。2年間で14商品を開発し、話題となるなど情報発信することができた。 今後は、需要に合わせた生産が進むことを期待する。
10	カシオペア連邦果物の里ファン拡大事業	農政部	690,000	690,000	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	二戸地方のブランド果物に対する認知度は高くなる傾向にあり、収穫体験でのアンケートの結果では、29% (IGR、H26) から50% (川徳、H27) となった。しかし、収穫体験に申し込んできた人へのアンケートであり、認知度は結果以上に低いと思われ、情報発信活動は継続する必要がある。 冬恋の販売店から、「購入リピーターも増え、販売額が増加している」との情報を得たので、今後も、販売と観光を結びつけた対応を強化していく必要がある。
11	久慈地方の「乾椎茸」をもっと知ってもらいたい事業	久慈地方森林組合	668,414	455,716	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	市場価格は、回復傾向にあるが、先行きはまだ不透明である。そのため、産地との直接取引で安定した所得確保ができる量販店等への直接販売に向けた取組は重要であり、イトーヨーカードーなどの販売店において商品が定着したことは、販売促進活動の継続によるものと考えている。 平成28年度は、本物志向のユーザー等に、選別を徹底した良品をより高値で販売する「直接販売」に取り組む、生産者の所得向上につなげたい。

No.	名称		金額		事業コード			評価結果
	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
12	コンテナ苗木を用いた低密度植栽普及事業	林務部	324,920	324,920	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<p>研修会の開催及びモデル林の造成は、予定どおり実施でき、目標以上の参加者数となった。</p> <p>コンテナ苗木による低密度植栽は、低コスト林業の実現に向けての具体的方策の一つであり、県内でも造林が進んでいる県北地域での普及拡大が期待される。</p> <p>一方で、導入に当たった新たな課題も明らかになり、本事業の継続の必要も認められた。</p>
13	浄法寺漆振興支援事業	岩手県浄法寺漆生産組合	1,149,550	660,550	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<p>漆林所有者を対象として保育管理研修会を実施したことは、今後の優良漆林化や漆掻き原木の安定的な確保に向けた取組として、今後も継続的な支援が必要と考える。</p>
14	久慈地域水産業復興推進事業	久慈地域『海の幸』PR協議会	4,045,463	2,882,607	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<p>本事業を通じて、地域商材の販路開拓及び地場水産物を使った新規水産加工品の開発が推進されたと考える。</p> <p>各種販売促進活動については、量販店・産直施設への販売活動を通じて、取引量の増加と消費地における固定客の確保につながったと考える。</p> <p>一方、水産加工新商品開発助成についても、3年間で10商品が開発され、震災によって縮小した販路の回復・拡大に対応できる商品開発を推進できた。</p> <p>今後は、回復した販路に対する取引数量を増加させることで、販売金額の増加と取引量の安定につなげる必要がある。</p>
15	浜の産直開始支援事業	久慈地域『海の幸』PR協議会	146,189	146,189	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<p>平成27年度は、産直開催に意欲を示した方と実施に向けた調整を進めたが、関係者との合意形成段階で躊躇したため、事業採択に至らなかったものの、引き続き産直開催の気運が醸成され始めている。</p> <p>平成26年度に採択された2箇所の産直は、自慢の食材(ウニ、ホヤ)を旬の時期に提供でき、産直開催に手ごたえを感じており、継続開催に道筋が付いたと考える。</p>
16	県北広域カワウ被害防止体制構築事業	水産部	804,326	804,326	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<p>平成27年度は、カワウ被害に関する情報共有体制の構築と新たなコロニーの発見という成果があった。今後、被害調査体制の見直しにより、カワウの飛来方向や季節的変化、カワウ被害金額の算定を行うことで、県北地域におけるカワウ被害の実態を明確にし、各漁協及び関係市町村が独自にカワウ被害対策に取り組めるよう事業を推進する必要がある。</p>
17	静穏域を活用した久慈地域新養殖種開発事業	水産部	618,367	618,367	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<p>あわび養殖は、餌(コンブ)の確保、給餌、分散などの養殖管理により、成長の差が生じたと考えられた。夏井地区では養殖を継続しており、産直等での販売を検討している。</p> <p>カキシングルシード種苗を用いた養殖試験では、二子地区が良好であった。要因として試験場所が内湾(玉ノ脇漁港隣接)で、他の3地区と比較して、波浪の影響が少なかったことと考えられる。また、二子地区で平成25年から飼育を継続したカキについては、見入りのデータを蓄積するとともに、平成28年度に直売等で販売する予定である。</p>

名称		金額		事業コード			評価結果	
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
18	久慈地域秋さけ種卵確保事業	普代村漁業協同組合、野田村漁業協同組合	0	0	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	例年と比べて河川遡上が著しく少なく、河口開放の効果が見込めないこと、また、全局的に種卵不足の状況で、業界の対策として重点的に海産親魚からの採卵に取り組むこととなったため、事業を中止した。
19	潜水漁業事故防止運動	水産部	337,296	337,296	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	平成26年度から安全講習会を実施してきたこともあり、事業実施前と比べて潜水漁業の安全管理に対する知識・意識の向上が図られた。平成27年度の潜水事故件数は0件であった。 今後は、生産者の安全管理意識の定着を図るため、定期的に講習内容の再確認を行うよう、漁協を通じて生産者に働きかけることとする。
20	北の海人(あま)養成塾	水産部	631,606	631,606	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	事業実施後、高校で参加生徒にアンケートを実施したところ、全員が「体験を通して地域の水産業について理解できた」と回答しており、当事業を通じて漁業への理解、関心を深めることを達成できたものとする。 また、70%の生徒が「将来、チャンスがあれば地元で漁業の仕事についてみたい」と回答しており、将来の担い手として期待される。 引き続き、事業を通じて、実際に就業に結びつくような体験プログラムを関係者と連携して構築していきたい。
21	北いわて滞在型観光推進事業	経営企画部	4,210,685	4,210,685	4 県・上記以外	3 観光産業	1 ソフト	平成27年度においては、観光素材及び観光メニューの精査が進むとともに、地域の観光人材の育成が図られた。 平成28年度においても、引き続き情報発信及び人材育成に向けた取組を進めることとする。 また、管内市町村、北三陸「あまちゃん」観光推進協議会及び八戸圏域と連携した観光PR活動も定着してきたところであり、平成28年度においてもこの連携体制を維持し、引き続き久慈地域への観光誘客の取組を進めることとする。
22	カシオペア体験交流推進事業	経営企画部	3,892,907	3,248,907	1 県・委託	3 観光産業	1 ソフト	平成27年度は、「岩手のてっぺんふしぎ発見」続編作成等による地域資源の情報発信、体験交流プログラムメニュー内容の拡充・更新、「カシオペア連邦おもてなし講座」開催等による人的ネットワークづくりに取り組み、地域資源のブランド化と二戸地域の認知度向上を図った。 平成28年度は、ふしぎ発見Vol.1とVol.2の合本版を作成するほか、折爪・馬仙峡県立自然公園ガイドマップを増刷し、二戸地域を訪れる観光客やいわて国体及びいわて大会関係者向けに広く配布していく。 また、二戸市観光協会とさらに連携し、体験交流プログラムメニュー内容を充実させ、二戸市を軸とした他関係観光協会等との連携態勢を促進していく。
23	折爪馬仙峡県立自然公園活用事業	折爪岳振興協議会	1,296,000	648,000	2 県・補助	3 観光産業	1 ソフト	平成27年度は、ツアーの一環として、新たに構成市町村で「森林ウォーキングin折爪岳」「星空観察会」を開催した。参加者からは、概ね好評であり、星空観察会では、ほとんど星が見えなかったにもかかわらず、参加者の満足度は、総じて高く、「暗い」ということは、環境に優しく観光資源ともなりうると考えている。 平成28年度は、季節のウォーキングや星空観察会を展開し、ヒメボタルの時期以外にも、折爪岳が持つ魅力をフェイスブックやホームページ、県内外の自然公園ビジターセンターと連携しながら発信し誘客を図りたい。

No.	名称		金額		事業コード			評価結果
	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
24	久慈地域食産業売上向上支援事業	経営企画部	2,189,377	2,189,377	4 県・上記以外	2 食産業	1 ソフト	県内外における商談会等への出展支援やバイヤーの招請を通じて、地域事業者の売上向上に資することができたと考える。
25	二戸地域食産業育成事業	経営企画部	1,840,689	1,426,689	1 県・委託	2 食産業	1 ソフト	鶏肉の日PRキャンペーンについては、「とり合戦」イベントの実施と併せ、鶏肉産地としてのPR、地産地消の取組として一定の成果が得られたと考える。 また、事業者からも好評を得たため継続して実施する。 若手経営者等の育成支援については、目標数以上の事業者に対し支援したものの、例年同様、特定の事業者への支援となり、偏りが見られたため、地元商工団体と連携した助成制度に設計変更する。
26	北いわてものづくり産業支援事業	経営企画部	3,418,971	3,418,971	3 県・負担金	1 ものづくり産業	1 ソフト	平成27年度で4回目となる「県北ものづくり改善塾」は、会場企業の生産性が向上したほか、参加者の改善意欲の向上が見られるなど、県北地域のものづくり企業における社内人材育成に貢献する取組となっている。 また、アパレル関連見本市への出展、管外企業対象の工場見学会、地元高校生等からのデザイン募集による洋服製作と発表が、県北地域の優れたものづくり産業をアピールする場となっていることから、こうした取組を継続していく。
27	久慈地域「健康(適量&適塩+適動)★アマノミクス」推進事業	保健福祉環境部	1,052,424	1,052,424	4 県・上記以外	7 地域医療・健康づくり	1 ソフト	「適量・適塩・適動 実践リーダー研修会」や減塩給食等の実施により、「全ての関係者(機関・団体)が連携し、脳卒中予防も含めた健康づくりに継続的に取り組むしくみ作り」が着実に進んでいると考える。
28	命を守るAED普及啓発事業	保健福祉環境部	959,076	959,076	4 県・上記以外	7 地域医療・健康づくり	1 ソフト	当事業で、AED機器の更新やAED講習会の開催、普及啓発用リーフレット作成により、AEDの普及が図られたと考える。 平成28年度は、作成したAED普及啓発用リーフレットをAEDの貸出し等の際に提供し、さらなる普及啓発のため、活用を図りたい。
29	久慈平庭県立自然公園環境整備事業	保健福祉環境部	461,560	461,560	4 県・上記以外	10 環境	1 ソフト	過去3年間の事業により、県立自然公園の整備が概ね完了した。 指標としていた「つつじまつり」来客者数については、指標値に届かなかったが、もう一方の指標である教育旅行における県立自然公園平庭高原への誘客者数については、指標値を大幅に上回ったことから、利用客の利便性・快適性が向上し、行事及び教育旅行における来客者が増加し、自然公園の利活用が促進されたと考える。
30	久慈地域森川海連携推進事業	保健福祉環境部	81,550	81,550	4 県・上記以外	10 環境	1 ソフト	事業の実施により、久慈地域の環境活動団体の環境保全意識高揚につなげることができた。 また、久慈地域の環境の現状について、専門家による説明を受け、地域住民の環境問題への理解を深めることができた。

No.	名称		金額		事業コード			評価結果
	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
31	カシオペア連邦森川海連携推進事業	保健福祉環境部	437,438	437,438	1 県・委託	10 環境	1 ソフト	<p>懸案であった次期流域ビジョンが策定となり、平成28年度以降の行動指針が定まったことから、当初の目標は、達成されたと考えられる。</p> <p>また、今後の環境保全活動を考える上で、若年層への意識啓発・自発的な活動の活発化が望まれるところでもあり、その点で今回の環境講演会において、多くの親子連れを呼び込めたことは、一定の成果があったものと思われる。</p> <p>平成28年度以降についても、若年層への普及啓発をキーワードに取組を進めていく。</p>
32	北三陸じえし会プロデュース地域力強化・発信事業	経営企画部	410,574	410,574	4 県・上記以外	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	<p>県内外におけるPR活動を通じて、多数の参加者・来訪者があった。</p> <p>また、出展物(各メンバーの活動)に興味を示し、後日連絡を頂く等久慈地域の熱心なファンやリピーターを得ることもできた。</p> <p>平成28年度以降も引き続き「北三陸じえし会」の活動を通じて、久慈地域の若者女性の活動支援を実施していくこととする。</p>
33	カシオペア若者定住事業	経営企画部	2,543,400	2,543,400	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	<p>カシオペア若者交流事業については、今年度の取組によって、若者が主体となった地域づくりのきっかけを作ることができた。平成28年度は、この成果を基に、若者独自でイベント企画・実施を進めていく。</p> <p>カシオペア若者情報発信事業については、普段あまり触れることができない若者達の考えや地域への思いを発信することができた。また、局内からの情報を迅速かつ正確に広く周知することができた。</p> <p>平成28年度は、複数人の若者が地域を良くしていくための考えを交わす内容で、地域に発信していく。</p>
34	「海と山をつなぐ道」トレイル事業	経営企画部・土木部	985,546	985,546	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	<p>平成27年度は、50名の参加があり、毎年度参加している方もいることから、当該事業が毎年恒例のイベントとして地域に定着しつつある。また、参加されている方々から継続の要望があることから、今後も事業を継続することにより、道路愛護精神の啓発を図るため、更なる定着を図りたい。</p> <p>トレイルイベントは、管内のみならず、管外からの参加者も多く、当該地域への誘客効果が期待できる。</p> <p>みちのく潮風トレイルについては、当地域の新たな観光素材として、今後も地元自治体と連携しながら活用を図ることとする。</p>
35	地域のチカラ発信事業	経営企画部	2,620,046	2,620,046	1 県・委託	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	<p>「北いわて最前線」の発行に当たっては、振興局広報であることに鑑み、局内各部の広報担当者で構成する「県北局イメージアップ推進会議」で発行内容を協議して決定することとする。また、「北いわて復興最前線」の発行については、初回の発行から3年を経過し、当該広報誌を通じて、住民の久慈地域の復旧・復興状況に対する一定の理解が進んだと考えられることから、平成27年度で終了することとする。今後は、「北いわて最前線」の一企画として、適時適切に復興状況等について情報発信していくこととする。</p> <p>「復興の現場見学会」については、参加者アンケートの結果を基に、より多くの住民に参加してもらうことができるよう関係機関等と綿密に調整を行った上で、開催することとする。</p>

平成27年度地域経営推進費 事業評価結果一覧表

名称		金額		事業コード			評価結果	
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
36	スポーツの力で地域活性化事業	経営企画部	2,459,674	2,459,674	4 県・上記以外	14 国体・障害者スポーツ大会	1 ソフト	<p>希望郷いわて国体・大会の普及啓発事業として、様々な事業を展開した。イベント参加者数等は、想定した目標数には届かなかったが、冬季国体におけるまめ汁の提供や、国体の盛り上げを地域の活性化に繋げる視点としての「国体後のまちづくり」講演会は、大変好評であった。</p> <p>平成28年度は、国体開催年であるため、人員の動員等も考慮すると積極的な事業展開が困難であるが、平成27年度の成果を活用する形で(国体マップの増刷等)、更なる国体の盛り上げの施策を展開していくこととする。</p>
37	動物愛護管理普及啓発推進事業	保健福祉環境部	228,400	228,400	4 県・上記以外	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	<p>動物愛護イベントについては、獣医師会と連携して行う、地域で最初の事例として、効果的な動物愛護思想の普及啓発を行うことができた。今後は、この活動の定着のために、取組を継続する必要があると考えられる。</p> <p>動物の譲渡については、動物の生存の機会の拡大に効果があったものの、ボランティアに過度な負担を強いる場合があったこと等から、今後は、一時預かり制度の一部を見直し、動物の生存の機会の拡大及び地域の人材育成のために、取組を継続する必要があると考えられる。</p>
38	定置網漁船へのカイゼン手法導入事業	水産部	396,399	396,399	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<p>関係者に調査結果を還元したことで、今後、主体的に問題の発見や解決ができる体制づくりのきっかけになった。</p> <p>平成28年度は、野田村で規模や構造の違う漁船で事業を行い、管内の定置網漁業の安全性、作業性、衛生面の向上につなげたい。</p>
合 計			51,066,125	44,268,777				